

## 秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 25 年 12 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

<sup>めだけ</sup>女岳では噴気地熱域が引き続き確認され、高温域にわずかな拡大が認められています。  
火山性地震は少ない状況で経過しました。地殻変動にも変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意して下さい。  
平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1、図3、4①）

東北地方整備局が仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置している監視カメラによる観測では、女岳北東斜面からの噴気の高さが4日と9日に一時的に200mとなりましたが、それ以外は女岳からの噴気の高さは50m以下で噴気活動は低調に経過しました。

9日に陸上自衛隊東北方面総監部の協力により実施した上空からの観測では、前回（2012年4月10日）と比較して、女岳南東火口内南西側と同火口縁外側との噴気地熱域で高温域<sup>1)</sup>のわずかな拡大が認められました。なお、この高温域の拡大は、2013年6月と7月に実施した現地調査でも確認されています。

その他の北東斜面や山頂北部等の噴気地熱地帯の高温域<sup>1)</sup>の状況に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

#### ・地震や微動の発生状況（図4②、③）

火山性地震は少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

---

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成26年1月分）は平成26年2月10日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。



図1 秋田駒ヶ岳 女岳からの噴気の状態（12月9日11時35分頃）

- ・上段：仙岩峠（女岳山頂の南約5km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による映像。
- ・下段：熊ノ台（女岳山頂の南西約5km）に設置されている監視カメラ（東北地方整備局）による映像。
- ・実線赤丸で囲んだのが、女岳からの白色噴気で高さは200mです。

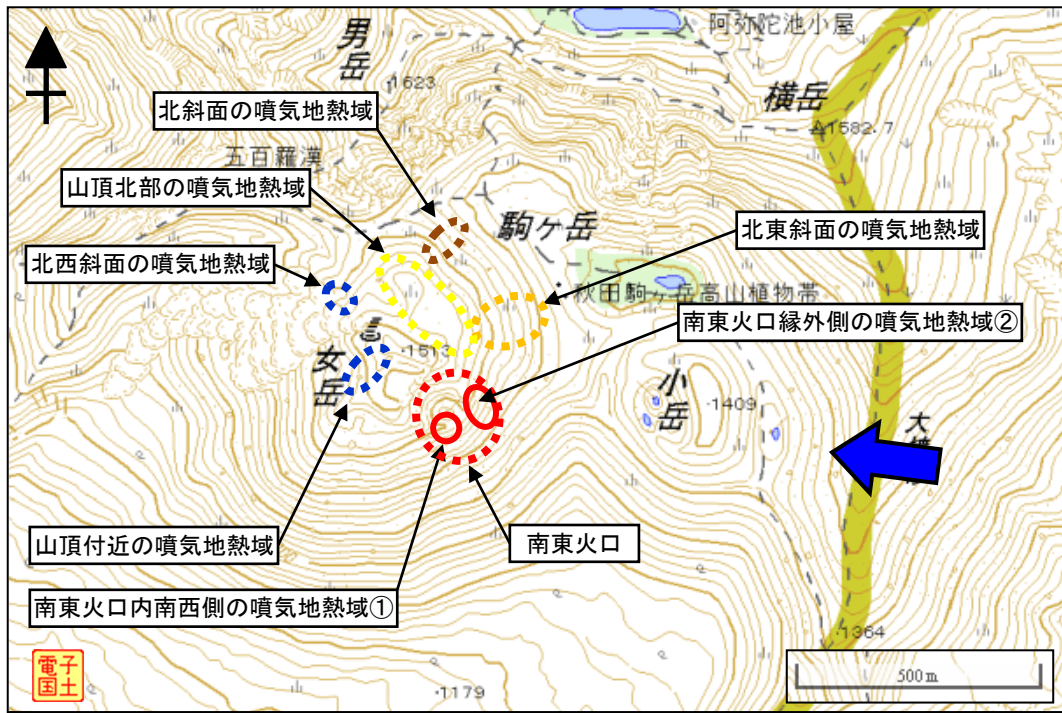


図2 秋田駒ヶ岳 女岳の地熱域の分布図及び可視画像と地表面温度分布  
 図中の青矢印は図3の撮影位置と方向を示します。

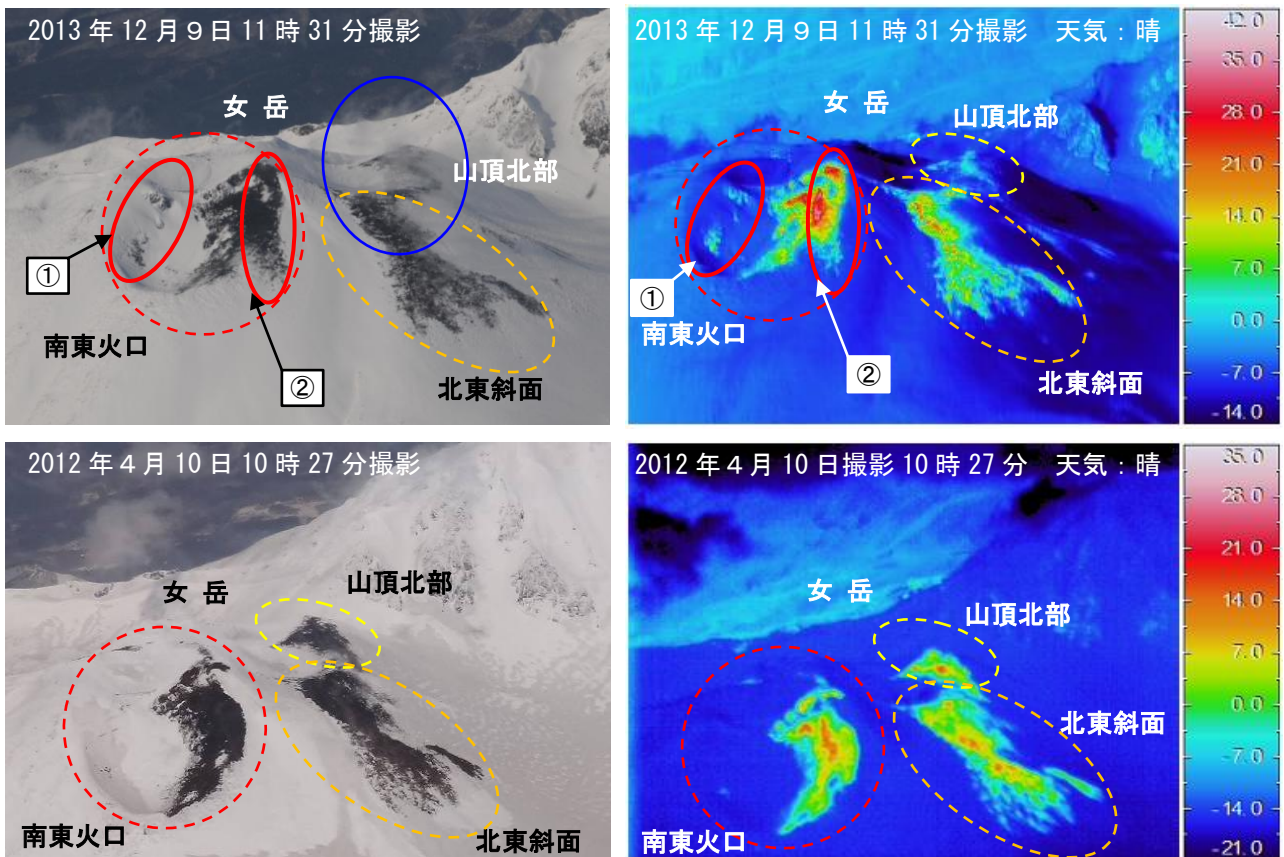


図3 秋田駒ヶ岳 女岳北東斜面、南東火口及び山頂北部の地表面温度分布<sup>1)</sup>と可視画像

- ・ 上段：2013年12月9日 図2の青矢印方向から、陸上自衛隊東北方面總監部の協力により撮影しました。
- ・ 下段：2012年4月21日 図2の青矢印方向から、岩手県の協力により撮影しました。
- ・ 南東火口内南西側（上段①）と南東火口縁外側（上段②）の高温域に拡大が認められました。
- ・ 北東斜面から高さ200mの噴気（上段左図の青色囲い）を観測しました。

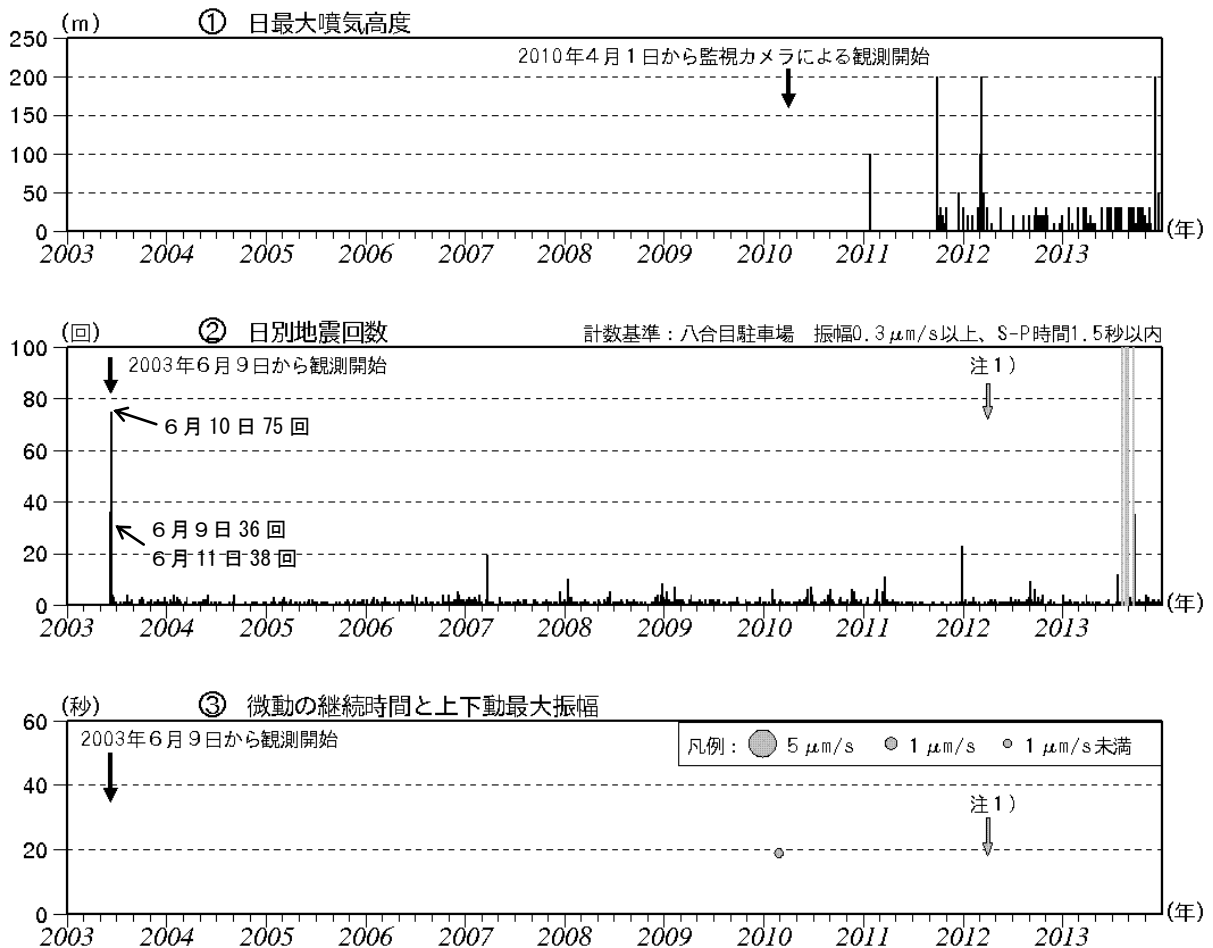


図4 秋田駒ヶ岳 火山活動経過図 (2003年6月～2013年12月)

- ①熊ノ台 (女岳山頂の南西約5 km) 及び仙岩峠 (女岳山頂の南約5 km) に設置されている監視カメラ (東北地方整備局) による観測です。
- ②③基準観測点の変更は次のとおりです (角カッコ内は地震回数の計数基準)。  
観測開始 2003年6月9日～東北大学秋田駒ヶ岳観測点 [振幅0.5 μm/s以上、S-P時間1.5秒以内]  
注1) 2012年4月1日～八合目駐車場 [振幅0.3 μm/s以上、S-P時間1.5秒以内]
- ②の灰色部分は欠測を表しています。

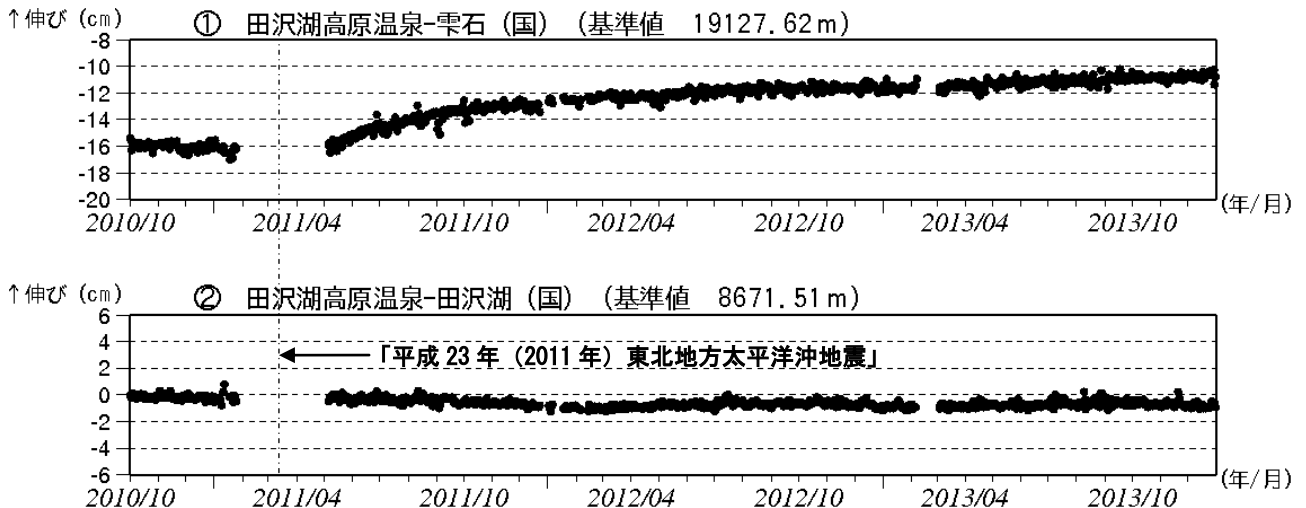


図5 秋田駒ヶ岳 GPS基線長変化図 (2010年10月～2013年12月)

- ①の基線では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。また、その後の変動は「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
- ①～②は図7のGPS基線①～②に対応しています。
- グラフの空白部分は欠測を表しています。
- (国) : 国土地理院

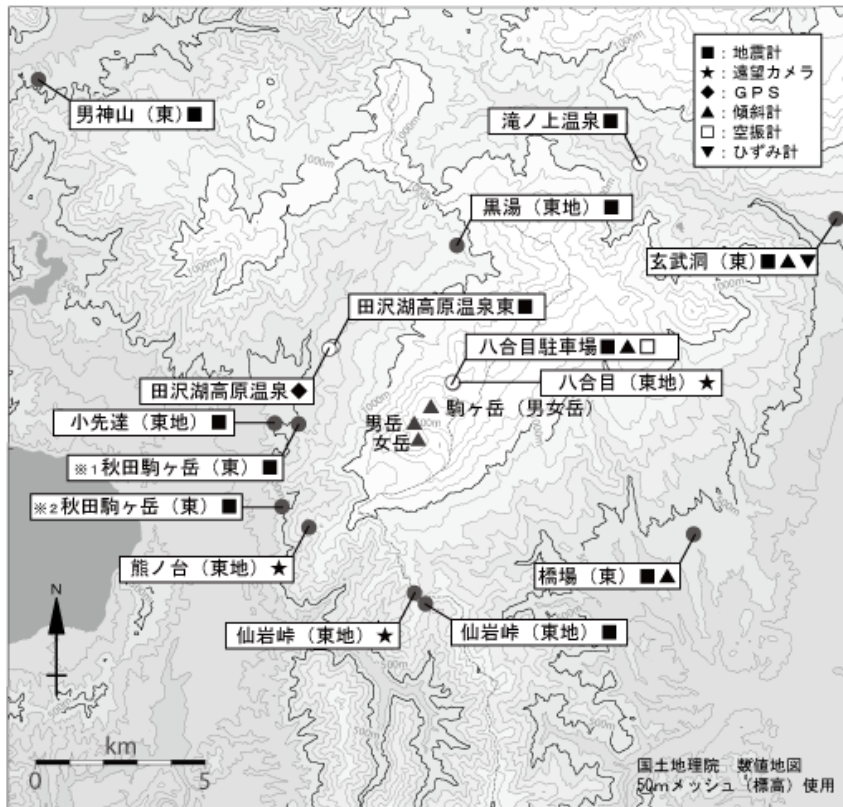


図6 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学 (東地) : 東北地方整備局

※1 秋田駒ヶ岳 (東) : 8月9日~11月21日データ使用停止。

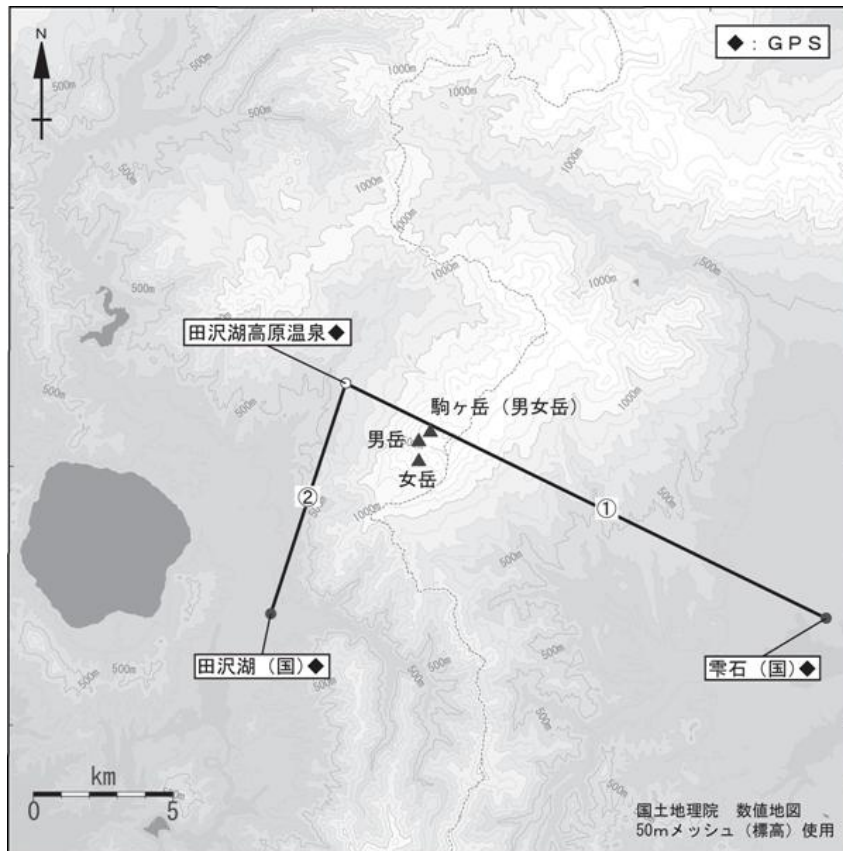


図7 秋田駒ヶ岳 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院